

【2024年度】放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

チェック項目				はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○		十分な活動スペースかつ活動内容に合わせたスペースを準備しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		利用する児童の状況に応じて、職員を配置し支援を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		こどもの特性に配慮し、視覚的に分かりやすい表示や配置を工夫するなど配慮を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		日々の清掃や消毒等を行うことで、事業所を清潔に保つよう努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		必要に応じて、全体が過ごす場所で離れて個別に使用できる場所を提供できるように配慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○		事業所職員全員が、業務改善に取り組み、PDCAサイクルを基に適宜振り返り等を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		保護者向け評価表の結果を、事業所職員に周知し、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		ミーティングや面談を通して、事業所職員の意見等を把握し、事業所内の業務改善を行っています。また、日々のコミュニケーションの中で意見交換を実施しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○		第三者による外部評価は行っておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		内部研修の実施や、外部研修への参加を行い、資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		2025年2月に支援プログラムの公表を行いました。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。		○		共通のアセスメントシートを使用し、適宜保護者様への聞き取りなどを通してアセスメントを行っています。またそれをもとに個別支援計画の作成を行っています。	
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		支援に携わる職員が参加して、モニタリング会議、支援計画作成会議を行い、支援内容の検討を行っています。	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		児童全員の個別支援計画を共有し、適宜支援計画に沿った支援が行えているか、確認をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		標準化されたフォーマルなアセスメントおよび日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用して適応行動の状況を確認しています。	

				公表年月		2025年2月	事業所名	ハッピーライフいくの
チェック項目				はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		ガイドラインに記載されている、提供すべき支援を元に、こども一人一人の状況に合わせた支援内容を検討しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		定期的な会議や、朝礼、終礼等で、活動内容、支援内容について検討を行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		こどもの状況に合わせた活動を提供できるように日々配慮しながら、固定化しないよう変化を持たせています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。		○		個別活動の時間、集団活動の時間を設け、こどもの状況に応じてそれぞれの場面での支援内容を検討し、支援を行っています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○		支援前に引継ぎ事項の確認を行い、児童への支援内容、活動内容等を確認しています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		終礼や日々のコミュニケーションの中で支援を振り返る機会を設け、気づきや引継ぎ事項を共有しています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○		日々の支援記録を作成し、半期のモニタリング時に支援内容、結果の検証を行い、支援内容の改善を行っています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○		毎月モニタリング会議を設定し、個別支援計画の見直しのための会議を行っております。		
	24	【放デイ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。		○		ガイドラインに基づき、こどもの状況に合わせながら支援を行っています。		
	25	【放デイ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。		○		さまざまなシチュエーションの中で自己決定を促し、意思を尊重しながら支援を行っています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○		児発管や直接支援を行う担当者が会議に参加し、支援内容の共有を行っています。		
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		地域の事業所や保育所、学校等と連携を行っています。		
	28	【放デイ】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。		○		適宜、学校と連携を行い、様々な連絡調整を行っています。		
	29	【放デイ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			○		就学前の通園先等との情報共有は行えていません。必要に応じて情報共有に努めます。	
	30	【放デイ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			○		進路の相談や情報鄭居を行い、高校年代の児童に対する支援の充実を図っていきます。	

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	31	【児発】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	32	【児発】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		地域の児童発達支援センターとの連携の機会は少ない現状ですが、必要に応じて助言や研修を受ける機軸を設けていきます。
	34	【放デイ】放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の児童クラブや放課後等デイサービス事業所と連携を図りながら地域の他のこどもと活動する機会を設けています。	
	35	【放デイ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加しています。	
	36	【児発】保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				
保護者への説明等	37	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に日々の様子や発達の状況、課題について共有をしています。またご家庭での課題や困りごとについてもお聞きしています。	
	38	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		「性教育」をテーマにした法人主催の保護者向け研修会を実施しております。今後も保護者向けの研修や情報提供を行っていきます。	
	39	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っています。内容の変更があった際には、随時、ご説明させていただきます。	
	40	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントを行い、子どもや家族の意向確認を行っています。また個別支援計画への反映をしています。	
	41	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画の作成、更新の都度、説明を行っています。丁寧な説明となるよう努めます。	
	42	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族等からの相談があった際には、迅速に適切な対応が取れるよう、情報共有を行っています。また事例によっては、面談を行っています。	
	43	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		保護者同士の交流の場を設けることができていない状況ですが、今後さまざまな形で保護者同士が交流できる機会を提供していきます。
	44	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった際には、速やかに情報共有を行い、適切な対応が取れるようにしています。	
	45	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		インスタグラムを開設し、活動の様子を発信しています。伝わりやすい内容の工夫や、活動の様子以外の発信も行っています。	

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
保護者への説明等	46	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		写真を含む個人情報の取り扱いには十分に注意し、漏洩のないよう管理を行っています。	
	47	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		こどもや保護者に合わせたわかりやすい言葉やツールを使用して、適切に情報伝達ができるようにしています。	
	48	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民を招待した活動は行っておりません。方法や活動内容の検討を行っています。
非常時等の対応	49	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、職員への周知を図っています。	家族への周知が不十分な為、訓練時などを通して、事業所の対応を周知していきます。
	50	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し、非常時の対応を検討、訓練を行っています。	
	51	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントを行い、服薬状況やてんかん発作の有無や状況を確認し、適切な支援に繋がっています。	
	52	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーの状況を聞き取り、特別な配慮が必要な場合は、医師の診断書や指示書をいただくようにしています。	
	53	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成しています。それに基づき、日ごろ使用する玩具や活動室、近隣の公園の危険個所の確認を行っています。	
	54	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全計画に基づく取り組み内容の周知は不十分です。書面などによる周知の方法を検討します。
	55	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの共有を行っています。それを基に、支援内容や方法の検討、事故防止に向けた対策を検討しています。	
	56	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員を対象に、年1月虐待防止に関する研修を行っています。	
	57	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要な場合は、事業所内での検討、保護者への説明を行い、支援計画に記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。